



Science **made** smarter

取扱説明書- JA

Viot Suite



D-0121610-C – 2020/05

目次

1	はじめに	1
1.1	本取扱説明書について	1
1.2	使用目的	1
1.3	使用対象者	1
2	セットアップ	2
2.1	動作環境	2
2.1.1	オペレーティングシステム	2
2.1.2	PC セキュリティ	2
2.1.3	Noah4 オフィスシステム	2
2.2	ソフトウェアのインストール	3
2.2.1	Viot Suite のインストール (Windows® 7)	3
2.2.2	Viot Suite のインストール (Windows® 10, 8, 8.1)	6
3	ビデオオトスコープの使用法	9
3.1	予熱と光源	9
3.1	ホワイトバランス	9
3.2	画像/動画のキャプチャー	9
3.3	ハードウェア説明書	9
4	Viot Suite の使用法	10
4.1	データベース	10
4.1.1	OtoAccess® から起動	10
4.1.2	Noah から起動	11
4.2	データリカバリー場所の設定方法	12
4.3	Viot Suite の操作方法	13
4.4	Viot Suite について	15
4.5	印刷ウィザード	16
4.5.1	印刷書式のカスタマイズ	18
4.5.2	構成要素	19
4.6	レポートの作成	25
4.6.1	レポート編集の操作	25
4.6.2	レポート編集	26
4.6.3	書式の編集	27



1 はじめに

1.1 本取扱説明書について

本取扱説明書は Viot Suite に適用されます。本製品は下記製造業者の製品です。

Interacoustics A/S

Audiometer Allé 1

5500 Middelfart

Denmark

Tel : +45 6371 3555

Fax : +45 6371 3522

E-mail : info@interacoustics.com

Web : www.interacoustics.com

1.2 使用目的

Viot™は、聴覚の評価前、評価中または評価後において、外耳道を客観的に観察するために使用されます。

Viot Suite は、Viot™本体を操作するために開発され、本製品を用いて生成された画像および動画の参照、キャプチャー、そして保存をすることができます。

1.3 使用対象者

本製品は、聴覚専門家および医療従事者が耳または外耳の検査に使用することを目的として設計されました。



2 セットアップ

2.1 動作環境

PC 最小要件:

- 2 GHz Intel i3 processor
- 4GB Ram
- ディスク最小空き容量 2.5 GB
- 解像度 1024x768
- ハードウェア・アクセラレート DirectX/Direct3D グラフィックカード

2.1.1 オペレーティングシステム

- Windows® 7 SP1 (x86 and x64)
- Windows® 8 / 8.1 (x64)
- Windows® 10 (x64)

Windows は米国および他国のマイクロソフト社の登録商標です。

重要: 使用するバージョンの Windows® に最新のサービスパックおよび更新プログラムがインストールされていることを確認してください。

USB ハブを経由して Viot を接続する場合は、必ずパワードタイプのハブを使用してください。

2.1.2 PCセキュリティ

PC セキュリティに関してユーザーが十分な措置を講じることを推奨します。これには、ウイルススキャン、ファイアウォール、ユーザーアクセス制限のインストールおよび使用が含まれます。詳細については、システム管理者にお問合せすることを推奨します。

マイクロソフト社がソフトウェアおよびセキュリティに対するサポートを終了したオペレーティング システムの使用は、ウイルスおよびマルウェアの攻撃を受けるリスクを増加させ、その結果、故障、データ損失、およびデータ盗難・悪用をもたらす場合があります。

Interacoustics A/S はお客様のデータに対する責任を負いかねます。一部の Interacoustics A/S 製品はマイクロソフト社がサポートしていないオペレーティング システムに対応しているかまたは動作する場合があります。Interacoustics A/S は、マイクロソフト社がサポートするオペレーティング システムで完全にセキュリティがアップデートされているものをお使いになることを推奨します。

2.1.3 Noah4 オフィスシステム

NOAH または NOAH エンジンで稼働している NOAH が組み込まれたすべてのオフィスシステムと互換性があります。



2.2 ソフトウェアのインストール

ソフトウェアがインストールされるまで、PCにハードウェアを接続しないでください。

2.2.1 VIOT Suiteのインストール (Windows® 7)

PCの電源を入れ、Windowsのデスクトップ画面を表示します。ビデオオトスコープのUSBケーブルを絶対に接続しないでください。

ディスクを挿入すると、ソフトウェアのインストールウィザードが起動します。以下の手順に従ってください。

1) ウィザードの起動画面

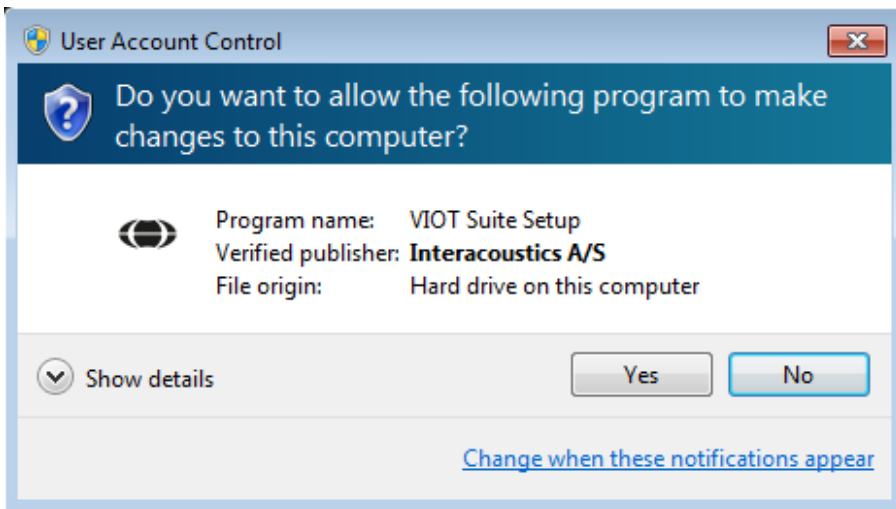


ライセンスの使用条件に同意するために、チェックボックスに必ずチェックを入れてください。チェックを入れると「インストール」ボタンが有効になり、インストール作業を進めることができます。

「オプション」をクリックすると、インストール先を変更することができます。オプションで変更せずに進めた場合は、既定の場所にインストールされます。

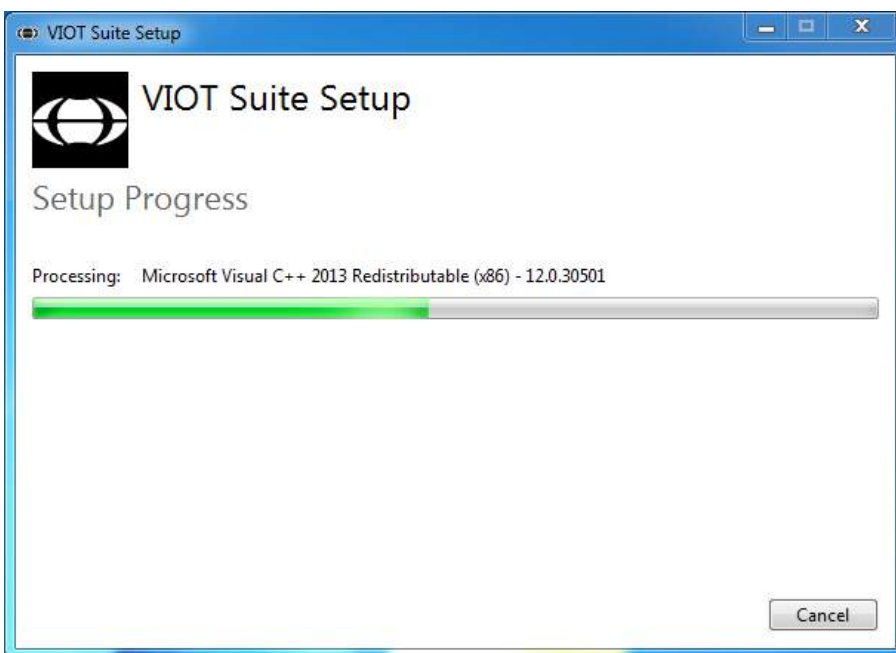


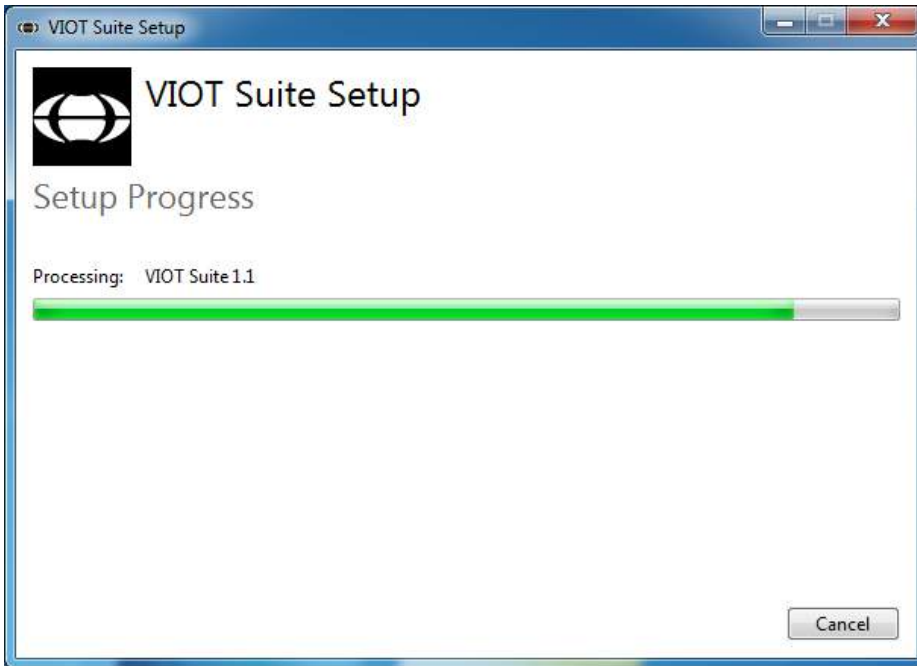
2) 「インストール」を押すと以下の画面が表示されます。



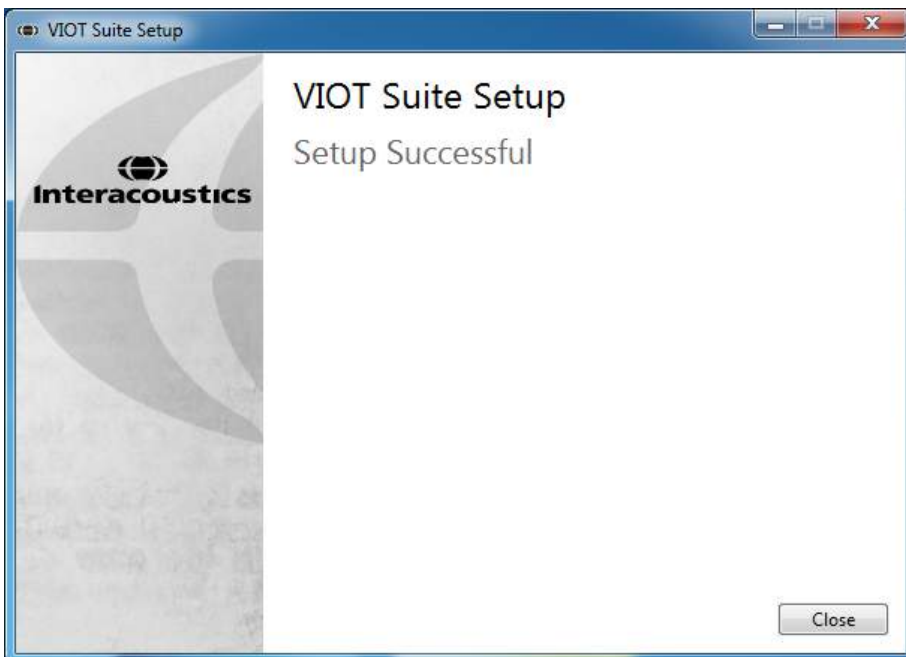
「はい」をクリックすると、ソフトウェアに PC への変更を許可し、必要なファイルがインストールされます。

3) 「はい」をクリックすると、以下の画面が表示されます。





4) インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。



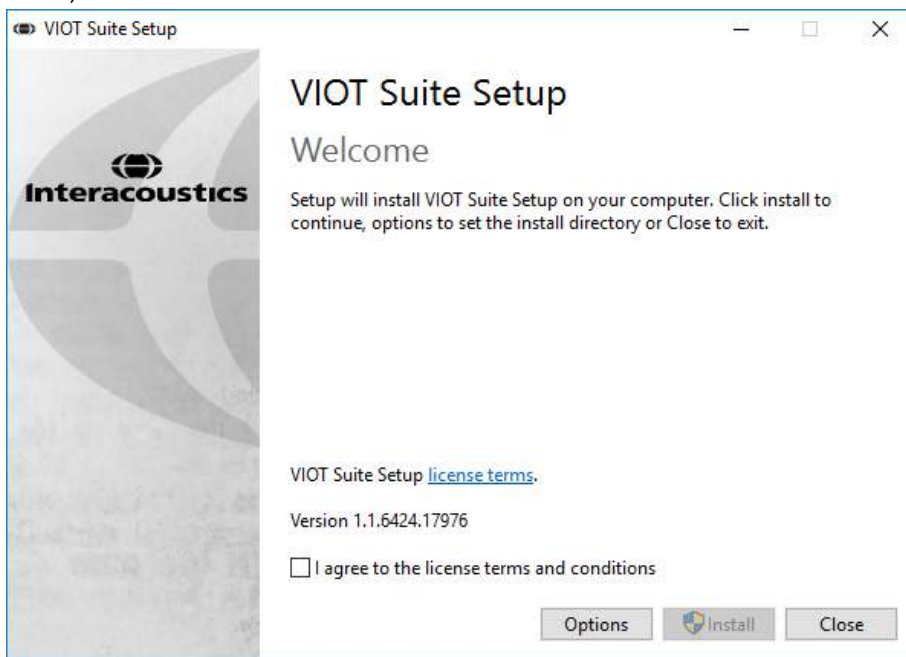


2.2.2 Viot Suite のインストール (Windows® 10, 8, 8.1)

PC の電源を入れ、Windows のデスクトップ画面を表示します。ビデオオトスコープの USB ケーブルは絶対に接続しないでください。

ディスクを挿入すると、ソフトウェアのインストールウィザードが起動します。以下の手順に従ってください。

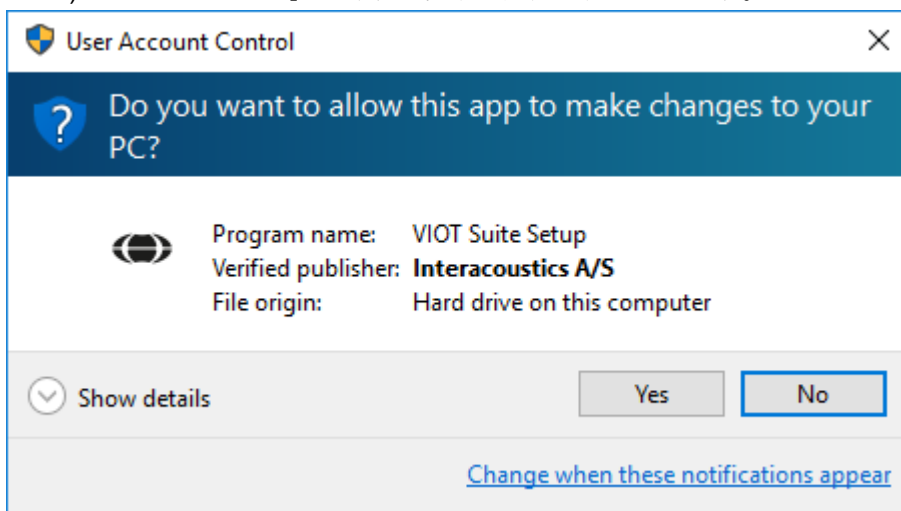
1) ウィザードの起動画面



ライセンスの使用条件に同意するために、チェックボックスに必ずチェックを入れてください。チェックを入れると「インストール」ボタンが有効になり、インストール作業を進めることができます。

「オプション」をクリックすると、インストール先を変更することができます。オプションで変更せずに進めた場合は、既定の場所にインストールされます。

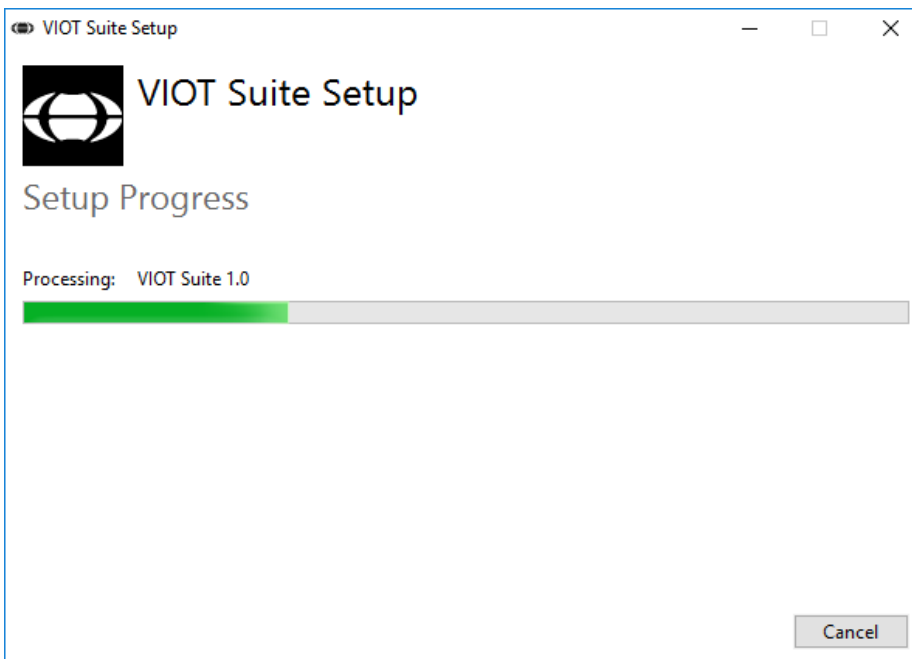
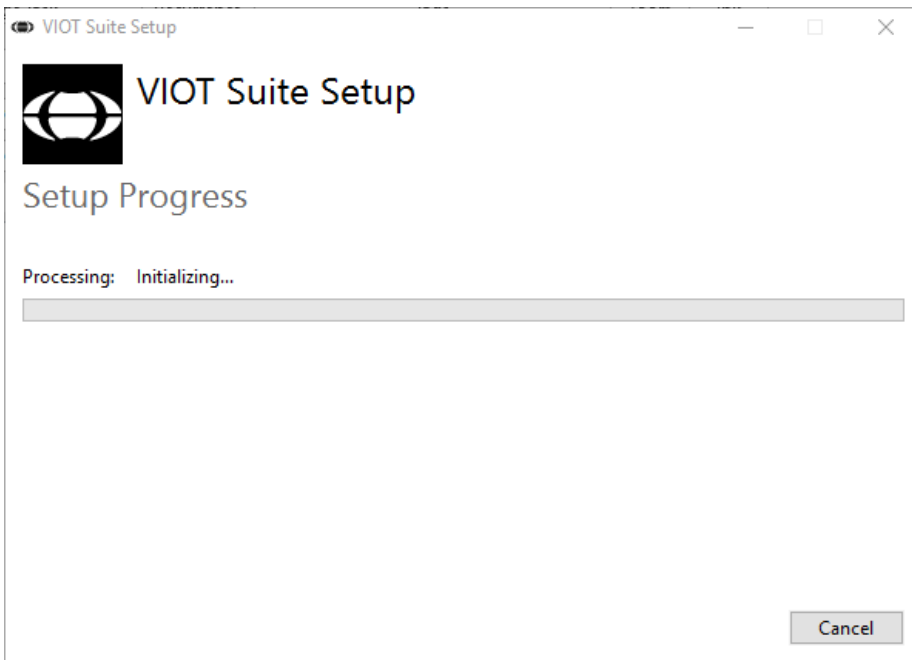
2) 「インストール」を押すと以下の画面が表示されます。

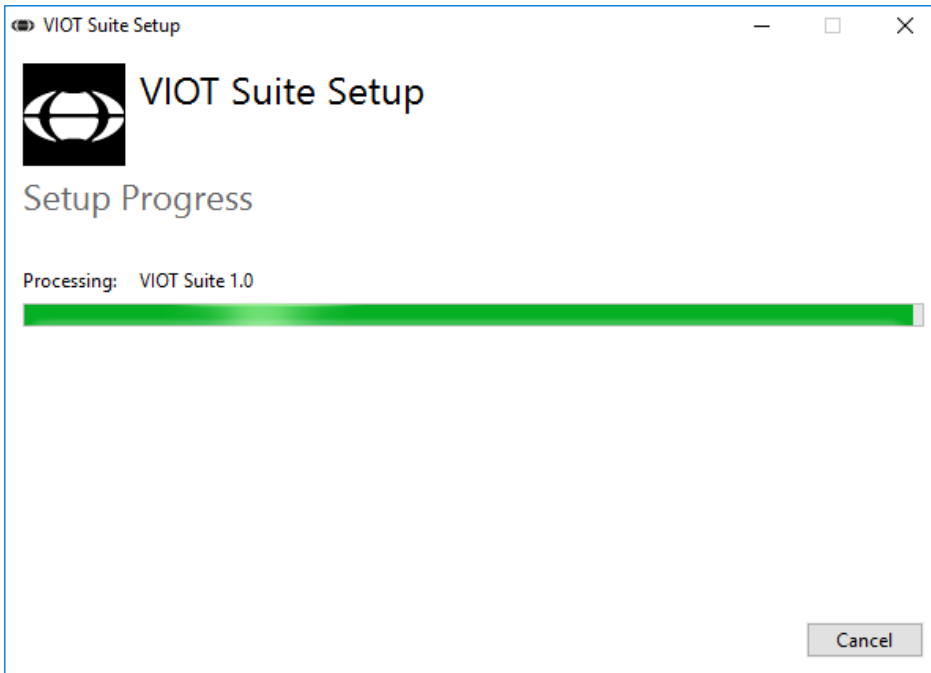


「はい」をクリックすると、ソフトウェアに PC への変更を許可し、必要なファイルがインストールされます。

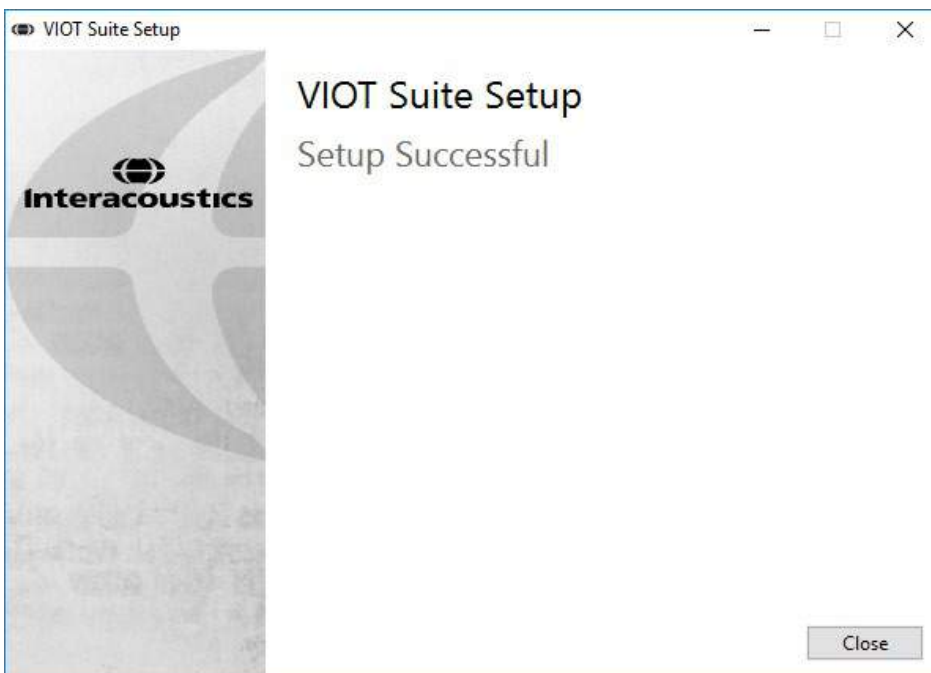


3) 「はい」をクリックすると、以下の画面が表示されます。





4) インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。

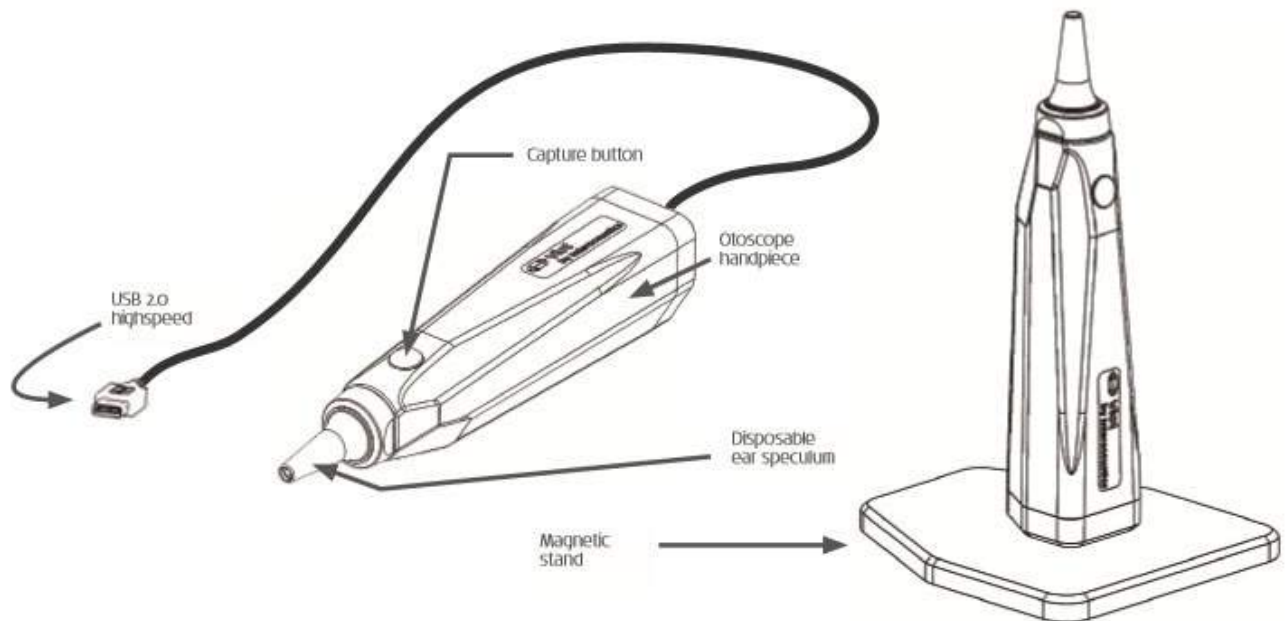




3 ビデオオトスコープの使用法

3.1 予熱と光源

Viot™の中には光源があり、使用中に外耳道を照らします。Viot™がPCに接続されると、自動的に光源が点灯されます。Suiteを開くことで、Viot™がキャプチャーする画像を参照することができます。



3.1 ホワイトバランス

Viot™ではホワイトバランスを調整する必要はなく、自動で補正されます。

3.2 画像/動画のキャプチャー

画像のキャプチャー、もしくは録画の開始/停止には、本体のキャプチャーボタンを使用します。スペースキーを押す、もしくはマウスを使用して Viot Suite 画面のキャプチャーボタンを押すことでキャプチャーすることも可能です。本体のキャプチャーボタンを長押しすることで、左右の耳を切り替えることができます。

3.3 ハードウェア説明書

Viot™本体の詳細情報については、ハードウェア説明書を参照してください。説明書には、システム仕様、お手入れ方法と管理方法について記載されています。



4 Viot Suite の使用方法

注記

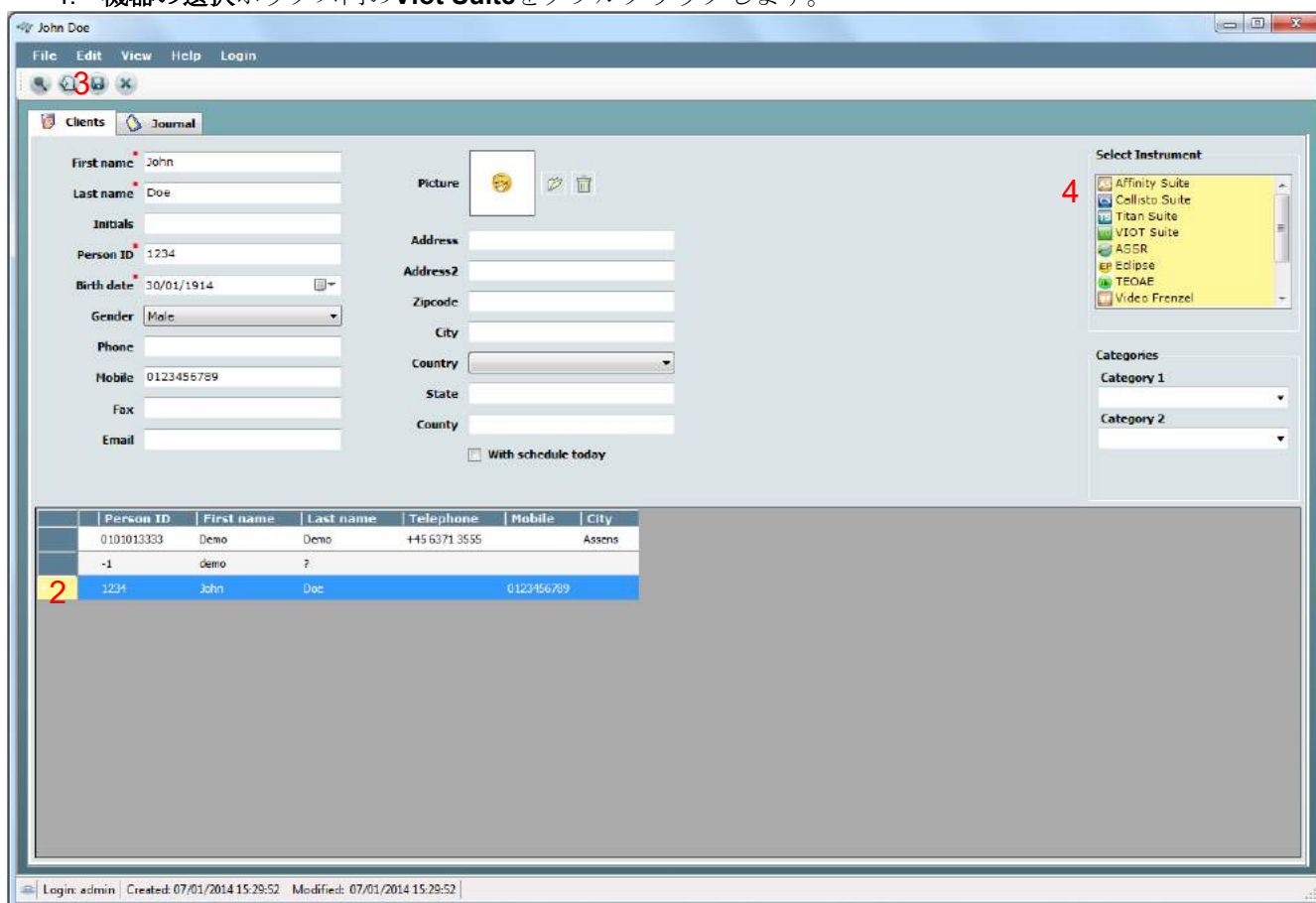
Viot Suite を起動する前に、ビデオオトスコープが PC に正しく接続されていることを確認してください。

4.1 データベース

4.1.1 OtoAccess® から起動

Viot Suiteを以下の手順でOtoAccess®から起動します。

1. OtoAccess®を起動します。
2. 対象の被検者をクリックし、選択します。選択されると、青色にハイライトされます。
3. 被検者が存在しない場合
 - 新規被検者アイコンを押します。
 - 赤色でマークされている必須項目は必ず入力してください。
 - 保存アイコンを押して、被検者情報を保存します。
4. 機器の選択ボックス内のViot Suiteをダブルクリックします。



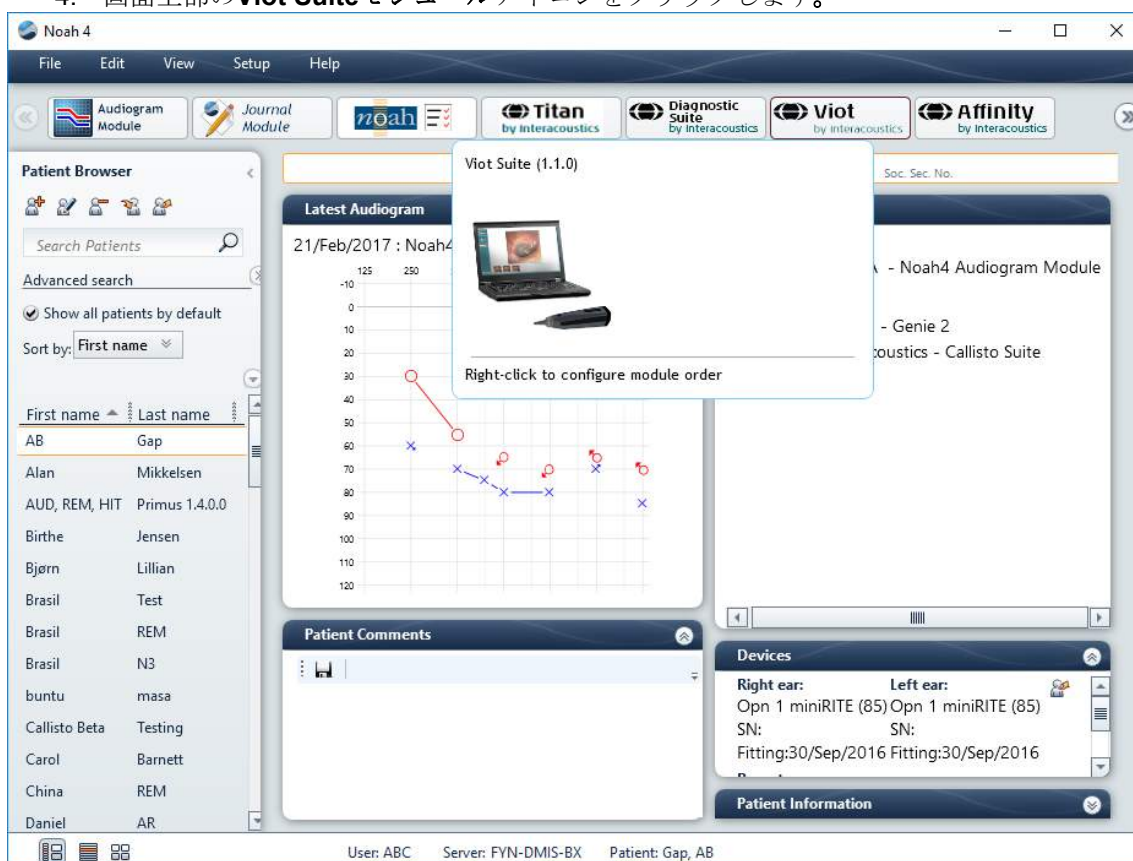
データベースとの連動に関する詳細については、OtoAccess® 取扱説明書を参照してください。



4.1.2 Noah から起動

Viot Suiteを以下の手順でNoah 4から起動します。

1. Noah 4を起動します。
2. 画面の左側から対象の被検者を検査し、選択します。
3. 被検者が存在しない場合
 - 新規顧客情報の追加アイコンをクリックします。
 - 必須項目を入力しOKをクリックします。
4. 画面上部のViot Suiteモジュールアイコンをクリックします。



データベースとの連動に関する詳細については、Noah 4 取扱説明書を参照してください。

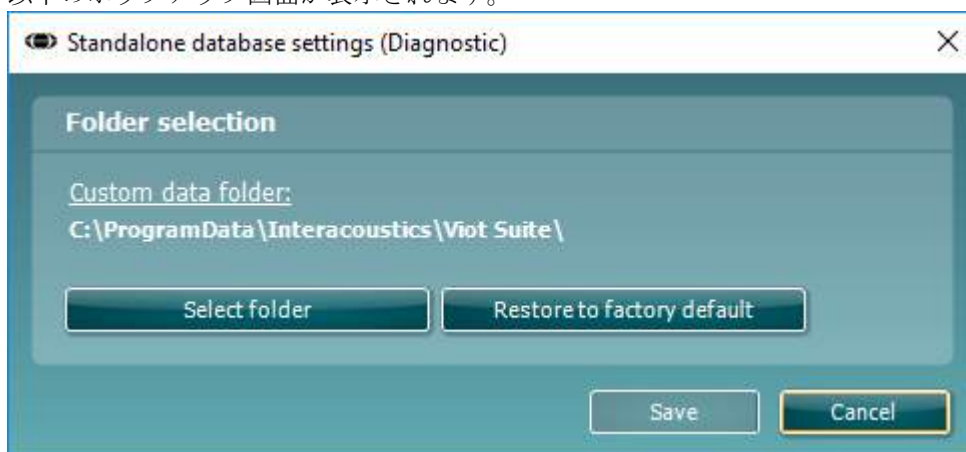


4.2 データリカバリー場所の設定方法

Viot Suiteには、ソフトウェアが誤って終了された場合やシステムが故障してしまった場合のためにデータを書き込むバックアップ保存先があります。次の場所 [C:\ProgramData\Interacoustics\Affinity Suite\]がリカバリー/スタンドアローンデータベースの既定の保存先になりますが、手順に従って変更することができます。

注記: 本機能は、スタンドアローンの保存先に加え、データベース上で作業している場合のリカバリー場所の変更にも使用されます。

1. [C:\Program Files (x86)\Interacoustics\Viot Suite]に移動してください。
2. このフォルダ内で、実行可能なプログラム [FolderSetupViot.exe]を探して実行します。
3. 以下のポップアップ画面が表示されます。

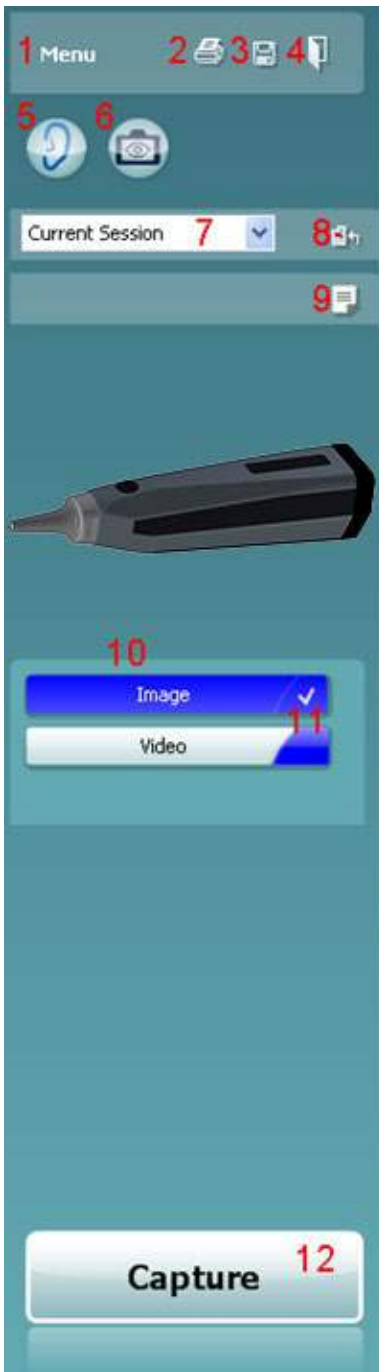


4. このツールでは、「フォルダを選択」ボタンをクリックし、スタンドアローンデータベースまたはリカバリーデータを格納したい場所を指定することができます。
5. データの保存先を既定の場所に戻したい場合は、「工場出荷時のデフォルトに回復」ボタンを押してください。



4.3 Viot Suite の操作方法

Viot Suite では以下の操作を行うことができます。



1. **メニューから印刷、表示、編集、設定、ヘルプ、印刷に移動します。**
メニューには以下の項目があります。
 - **メニュー | 印刷 | 印刷** Viot 440 の設定で指定されている既定の書式を使用して現在のプロトコルを印刷します。印刷画面が開き、印刷する前にプリンターの選択や設定の変更ができます。Viot 440 内で印刷書式が選択されていない場合、印刷書式を選択するように促されます。
 - **メニュー | 印刷 | 印刷プレビュー** Viot 440 の設定で指定されている印刷書式を使用して印刷プレビューを表示します。 Viot 440 内で印刷書式が選択されていない場合、印刷書式を選択するように促されます。
 - **メニュー | 印刷 | 印刷ウィザード** 現在のプロトコルを印刷する書式を選択するための印刷ウィザード画面が表示されます。印刷ウィザードの操作については、項目 4.4 を確認してください。
 - **メニュー | 表示 | ウィンドウ位置の保存** Viot Suite 画面の現在のサイズと位置が保存されます。次に Suite を起動したときに、保存されたサイズと位置が適用されます。
 - **メニュー | 編集 | ファイルにエクスポート** 現在選択されている画像を BMP、JPEG、TIFF、または PNG のファイル形式でエクスポートします。
 - **メニュー | 編集 | MS ペイントにエクスポート** 現在選択されている画像を BMP ファイル形式で直接 MS ペイントにエクスポートします。
 - **メニュー | 設定 | Viot 440 の設定** 設定画面が表示され、
 - 録画した動画を保存する場所を指定します。
 - 印刷ウィザード画面が表示され、既定の印刷書式を指定します。
 - **メニュー | ヘルプ | Viot Suite について** 下記情報が記載された画面が表示されます。
 - Viot Suite のバージョン
 - 著作権 Interacoustics 2009
 - www.interacoustics.com へのリンク
2. **印刷アイコンでは、表示された画面を既定のプリンターで印刷できません。** Viot 440 の設定 印刷書式が指定されていない場合は、指定するように促されます。
3. **保存&新規セッションアイコン** OtoAccess®または Noah に現在の測定が保存され、測定可能な状態で新規セッションが表示されます。
4. **保存&終了アイコン** OtoAccess®または Noah に現在の測定が保存され、Viot Suite を終了して OtoAccess®または Noah に戻ります。
5. **耳の切替えアイコン** アイコンを押すと、左右の耳が切り替わります。
6. **ライブビュー表示を選択** 現在選択された画像または動画をビデオオトスコープによるライブビュー表示へ切り替えます。
7. **セッション履歴** ドロップダウンメニューから過去に保存された測定結果を選択して参照することができます。
8. **現在のセッションに移動** 現在のセッションに移行します。



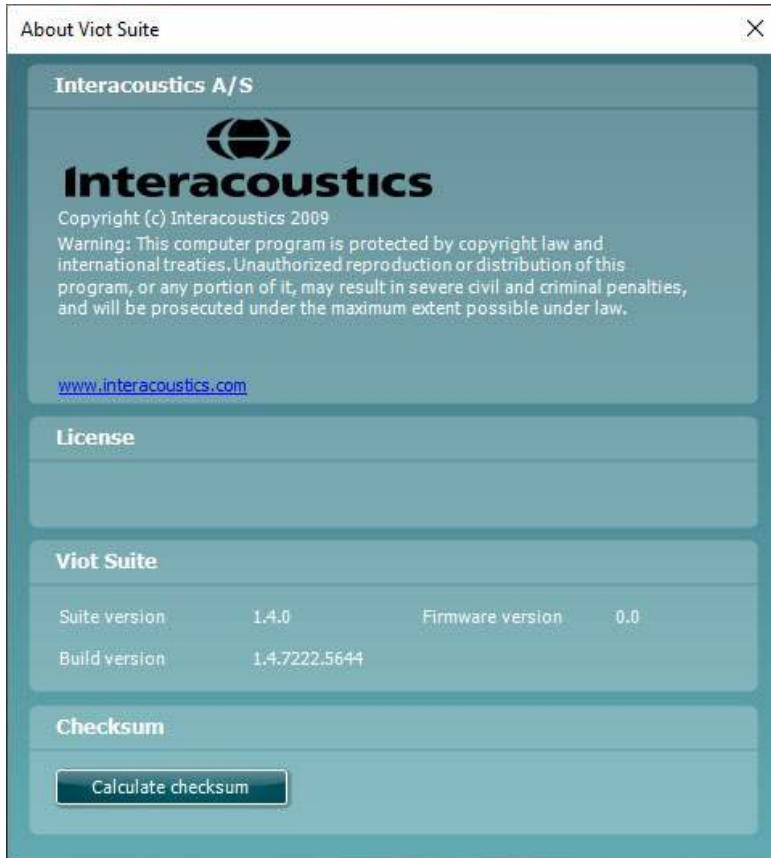
9. **レポート編集アイコン** 別画面が表示され、現在のセッションにメモを追加できます。セッションを保存すると、レポートも **OtoAccess®** に保存されます。現在のバージョンでは、保存後にレポートは変更できませんのでご注意ください。
10. **Viot Suite** では画像キャプチャーおよび動画録画の2種類の記録方法があります。現在選択されている耳に応じて青色または赤色で表示されます。
11. 白いチェックマークは、キャプチャーデータがメモリーに保存されていることを示します。
12. **キャプチャー / 停止ボタン** 画像のキャプチャー、もしくは動画の録画を開始/停止します。
13. **矢印アイコン** 4つ以上のキャプチャーデータがある場合に他のキャプチャーデータを閲覧することができます。
14. **モニター表示** 右クリックで選択し、別画面で画像を表示させることができます。画面の右隅をドラッグすることで画面サイズを調整することができ、別のモニター画面で全画面表示することも可能です。
15. **コメントの挿入** 右クリックメニューで選択し、各画像に対して個別にコメントを挿入することができます。コメントは印刷結果に表示されます。
16. **キャプチャーの削除** 右クリックメニューで選択し、画像/動画を削除することができます。





4.4 Viot Suite について

メニュー> ヘルプ> 概要に移動すると、以下のウィンドウが表示されます。これは、ライセンスキーを管理し、Suite、ファームウェア、ビルドバージョンを確認できるソフトウェアの領域です。



また、このウィンドウにはチェックサムセクションがあり、ソフトウェアの整合性を識別するのに役立ちます。これは、ソフトウェアバージョンのファイルとフォルダーのコンテンツを確認することにより機能します。これは、SHA-256 アルゴリズムを使用しています。

チェックサムを開くと、文字と数字の文字列が表示されます。ダブルクリックすると、これをコピーできます。

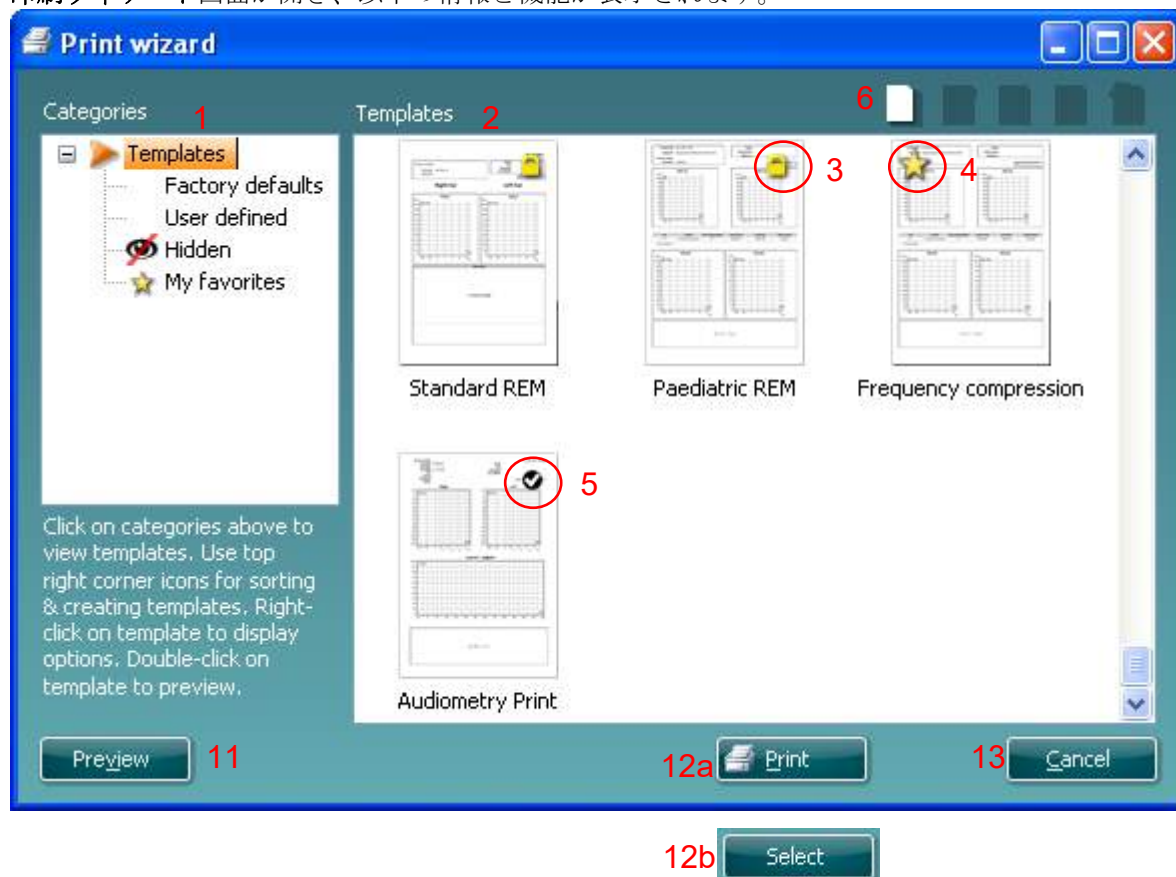


4.5 印刷ウィザード

印刷ウィザードでは、印刷書式をカスタマイズするオプションがあり、各プロトコルに印刷書式をリンクさせることですぐに印刷することができます。印刷ウィザードは2種類の方法で開けます。

- 通常使用する印刷書式を作成する場合／既存の印刷書式を指定する場合：Affinity² Suite タブ (AUD、REM、HIT) よりメニュー/印刷/印刷ウィザードに移動します。
- 印刷書式を作成する場合／既存のプロトコルを指定して特定のプロトコルにリンクさせる場合：特定のプロトコルに関連するモジュールタブ (AUD、REM、HIT) に移動し、メニュー/セットアップ/AC440の設定、メニュー/セットアップ/REM440の設定またはメニュー/セットアップ/HIT440の設定を選択します。ドロップダウンメニューから特定のプロトコルを指定し、画面の下部にある印刷設定を選択してください。

印刷ウィザード画面が開き、以下の情報と機能が表示されます。

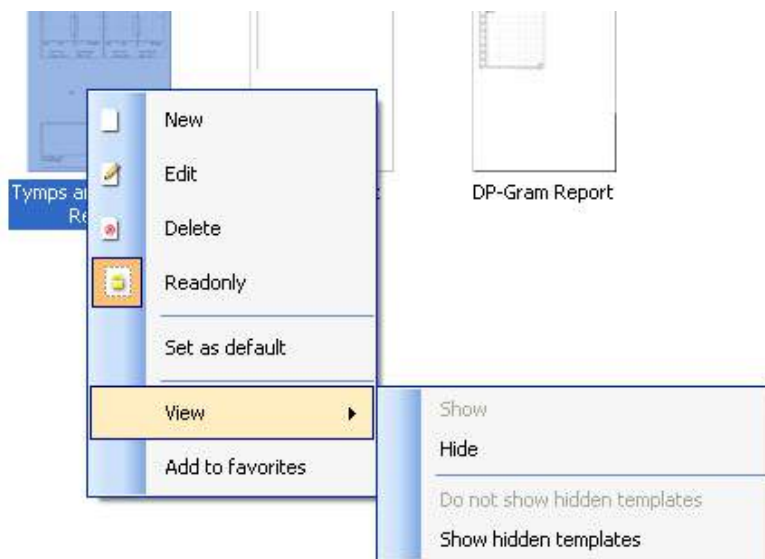


- Categories**では以下を選択することができます。
 - Templates** 使用可能なすべての印刷書式を表示します。
 - 工場出荷設定** 標準の印刷書式のみ表示します。
 - ユーザー定義** カスタマイズされた印刷書式のみ表示します。
 - 非表示** 非表示の印刷書式を表示します。
 - お気に入り** お気に入りにマークされた印刷書式のみ表示します。
- 選択されたカテゴリーに応じて使用可能な印刷書式が**Templates**領域に表示されます。



3. 工場出荷時の印刷書式は、ロックアイコンで識別できます。標準の印刷書式が用意されていることで印刷書式を作成する必要がありません。ただし、編集する場合は新しい名前で再保存してください。 **ユーザー定義**/作成済みの印刷書式を選択し、右クリックメニューで**Read-Only**を選択すると、ロックアイコンが表示され、**読み取り専用**に設定できます。 **ユーザー定義**の印刷書式では、**読み取り専用**の設定を同様の手順に従って解除することもできます。
4. **お気に入り**に追加された印刷書式には星印が付きます。 **お気に入り**に印刷書式を追加することで、頻繁に使用する印刷書式を即時に表示することができます。
5. **AC440**、**REM440**または**HIT440**の画面から印刷ウィザードを使用する場合、プロトコルに紐づけされた印刷書式はチェックマークで識別できます。
6. 新規の印刷書式を開くには、 **New Template**アイコンを押してください。
7. 印刷書式を編集するには、既存の印刷書式を選択し、 **Edit Template**アイコンを押してください。
8. 印刷書式を削除するには、既存の印刷書式を選択し、 **Delete Template**アイコンを押してください。印刷書式の削除を確認するメッセージが表示されます。
9. 印刷書式を非表示にするには、既存の印刷書式を選択し、 **Hide Template**アイコンを押してください。この印刷書式は、 **Categories**で**非表示**が選択された場合にのみ表示されます。印刷書式の非表示を解除するには、 **Categories**で**非表示**を選択し、印刷書式を右クリックして、 **View/Hide**を選択してください。
10. 印刷書式をお気に入りに設定するには、既存の印刷書式を選択し、 **お気に入り**アイコンを押してください。印刷書式が**Categories**の**お気に入り**に追加されると、すぐに選択することができます。お気に入りの印刷書式を解除するには、星印が付いた印刷書式を選択し、 **My Favorites**アイコンを押してください。
11. 印刷書式の印刷プレビューを画面に表示するには、印刷書式を選択し、 **Preview**ボタンを押してください。
12. 印刷ウィザードの開き方により、以下のオプションがあります。
 - a. **Print**ボタンで、選択された印刷書式を印刷できます。
 - b. **選択**ボタンで、印刷ウィザードを開いたプロトコルに印刷書式を紐付けることができます。
13. 印刷書式を選択または変更をせずに印刷ウィザードを終了する場合は、 **Close**を押してください。

特定の印刷書式を右クリックすると、メニューが表示され、上記方法の代わりに各項目を実行することができます。

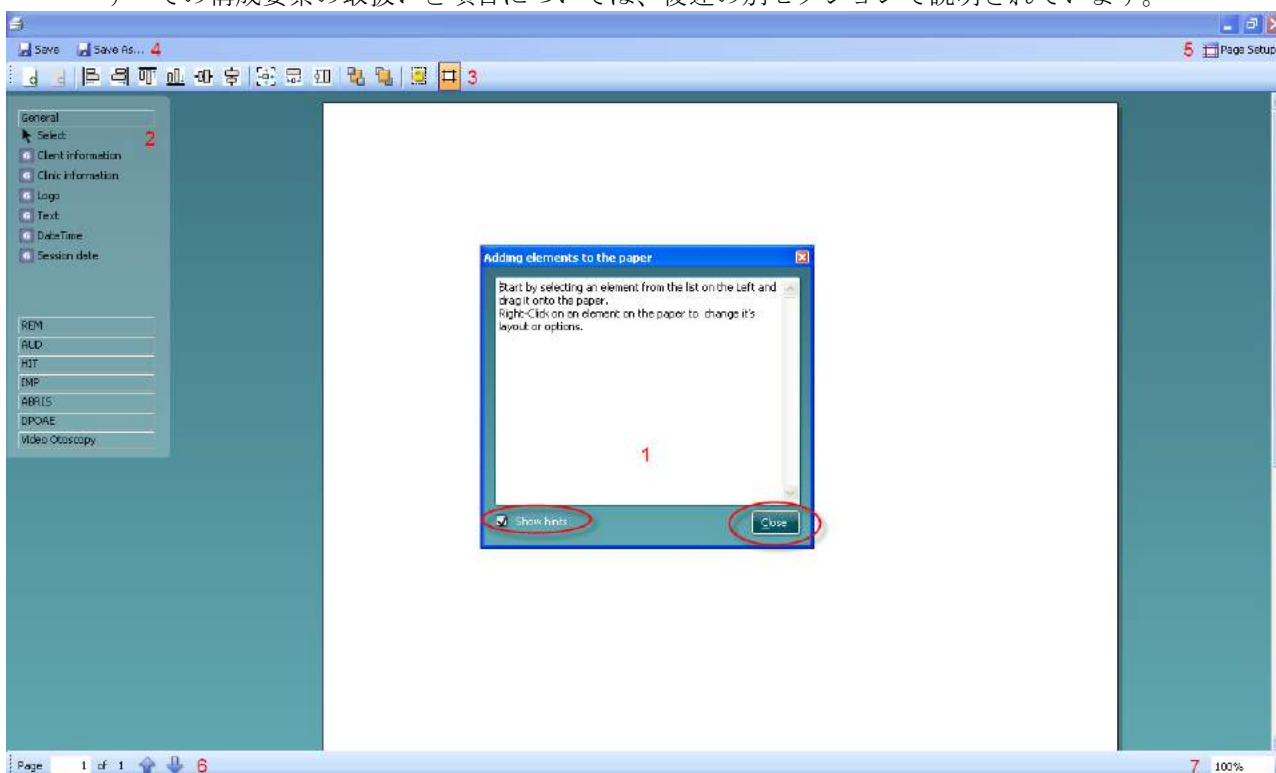





4.5.1 印刷書式のカスタマイズ

New Templateまたは**Edit Template**アイコンを選択すると、以下のカスタマイズ画面が表示されます。

1. 画面が開くと、印刷書式の作成手順を簡単に説明した画面が表示されます。**閉じる**を押してメッセージ画面を閉じます。次回からこの画面を表示させたくない場合は、**ヒントを表示**チェックボックスのチェックを外します。
2. リストは空白の印刷書式にドラッグできる構成要素を示しています。**一般**を選択すると、一般の構成要素が表示されます。**AUD、REM、HIT**など関連するモジュール名を選択すると、各モジュールの印刷書式の構成要素が表示されます。**Titan Suite**など、他の**Suite**がインストールされている場合、関連する**Suite**も表示されます。
すべての構成要素の取扱いと項目については、後述の別セクションで説明されています。



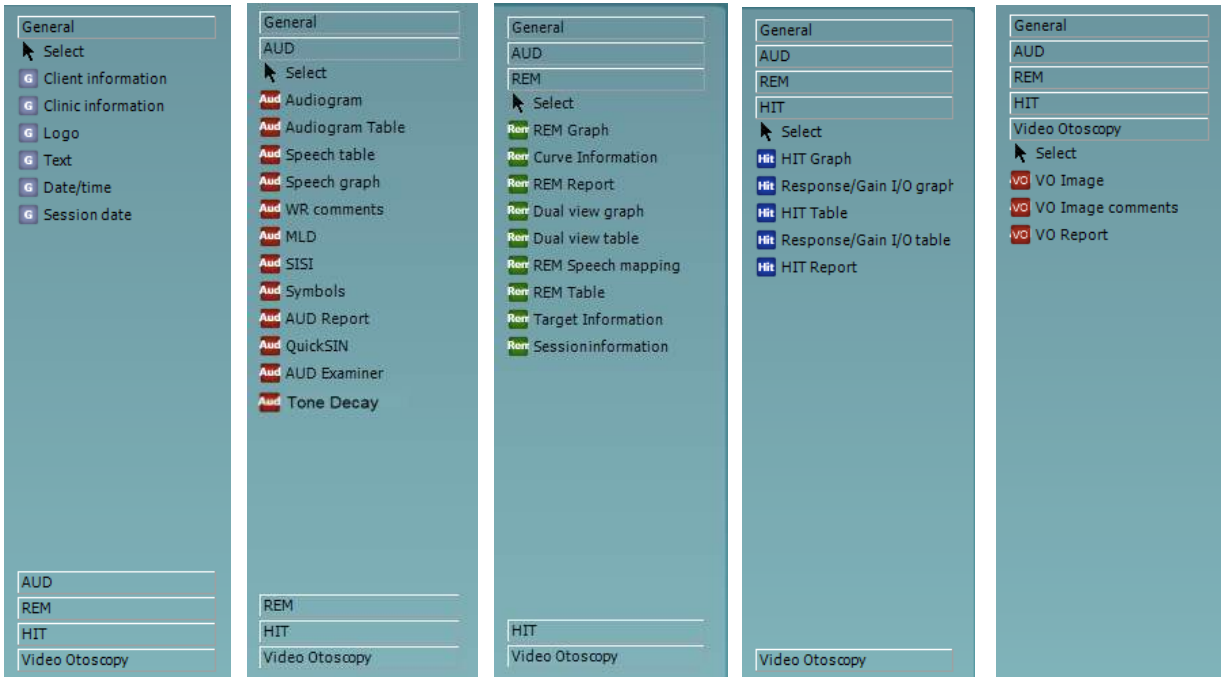
3. タスクバーには、空白の書式ページへドラッグされるカスタマイズ用の構成要素のアイコンが含まれています。詳細は、後述の別セクションで説明されています。
4. **Save**アイコンを押すと、印刷書式が保存され、**印刷ウィザード**画面に戻ります。新規で印刷書式を作成した場合、名前を付けるように促されます。編集した既存のテンプレートを別の名前で保存する場合、**Save As...**アイコンを押してください。
5. **Page Setup**アイコンを押すと、**Page Setup**画面が開き、用紙サイズ、給紙方法、余白、印刷の向きを指定することができます。
6. 印刷書式が2ページ以上で構成されている場合、上下の矢印、、を用いてページ間をスクロールします。表示/編集したいページ番号を入力することもできます。
7. **ズーム**のドロップダウンリストでは、画面上で印刷書式の表示サイズを変更することができます。



4.5.2 構成要素

選択およびドラッグ&ドロップ機能を利用して、構成要素を印刷書式のページに追加します。使用したい構成要素をクリックし、印刷書式のページへとドラッグします。構成要素は小さなボックスの形で左上隅に表示されます。構成要素を希望のサイズに調整し、適切な場所にドラッグします。

AUD、REM、HIT、VIOTのモジュールには、以下の構成要素を使用することができます。以下のセクションでは、印刷書式にドラッグされた各構成要素で利用できるオプションを説明しています。構成要素を右クリックすると、カスタマイズ用の項目が表示されます。

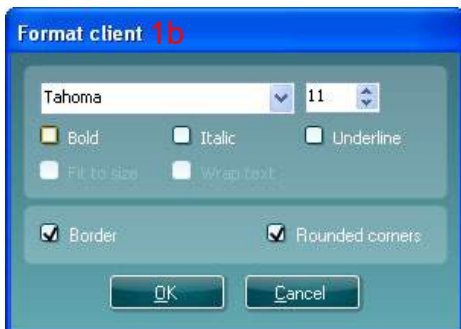
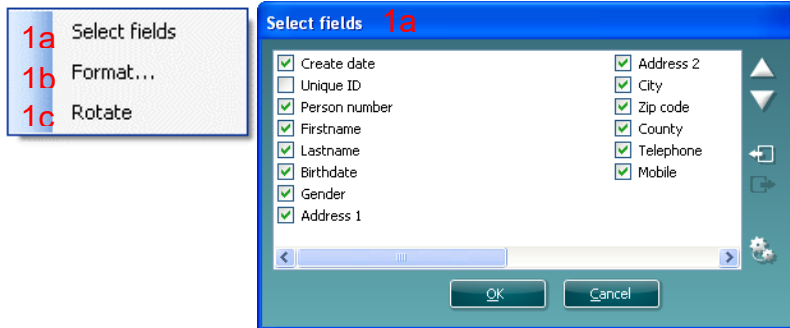




4.5.2.1 構成要素「一般」

1. 被検者情報

- a. フィールドの**選択**では、**フィールドの選択**画面が表示され、被検者情報の構成要素に表示する項目を選択することができます。フィールドを選択して、上▲または下矢印▼を押すと、フィールドの順序を変更することができます。+を押すと、新しい空白のフィールドが作成され、名前を付けて印刷書式に表示させることができます。フィールドを選択して1秒間待ってからフィールド名を左クリックすると、フィールド名を変更することができます。+を押すと、選択されたユーザー定義のフィールドを削除することができます。⚙️を押すと、工場出荷時の既定のフィールドに戻すことができます。
- b. **フォーマット**では、**被検者情報のフォーマット**画面が表示されます。**被検者情報**のフォント、フォントサイズ、フォーマット、表示形式を変更することができます。
- c. **回転**を選択すると、構成要素が時計回りに**90度**回転します。

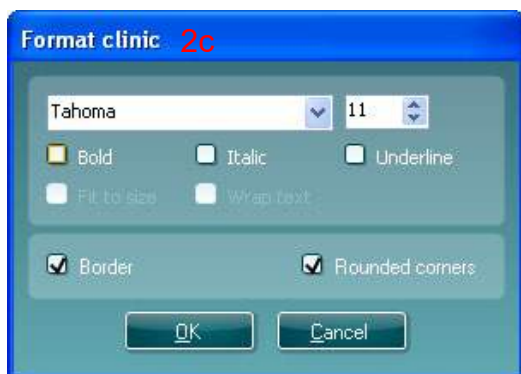


2 施設情報

- a. フィールドの**選択**では、**フィールドの選択**画面が表示され、施設情報の構成要素に表示する項目を選択することができます。フィールドを選択して、上▲または下矢印▼を押すと、フィールドの順序を変更することができます。+を押すと、新しい空白のフィールドが作成され、名前を付けて印刷書式に表示させることができます。フィールドを選択して1秒間待ってからフィールド名を左クリックすると、フィールド名を変更することができます。+を押すと、選択されたユーザー定義のフィールドを削除することができます。⚙️を押すと、工場出荷時の既定のフィールドに戻すことができます。
- b. **施設情報の入力**では、**施設情報の入力**画面が表示されます。選択された印刷書式に応じて施設情報を入力し、保存することができます。**作成日時**の項目は、現在の日時が常に表示されるため、変更することができません。
- c. **フォーマット**では、**施設情報**のフォント、フォントサイズ、フォーマット、表示形式を変更することができます。

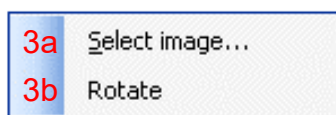


- d. ラベルの表示を選択すると、施設情報のフィールド名の表示/非表示を切り替えることができます。
- e. 回転を選択すると、構成要素が時計回りに90度回転します。



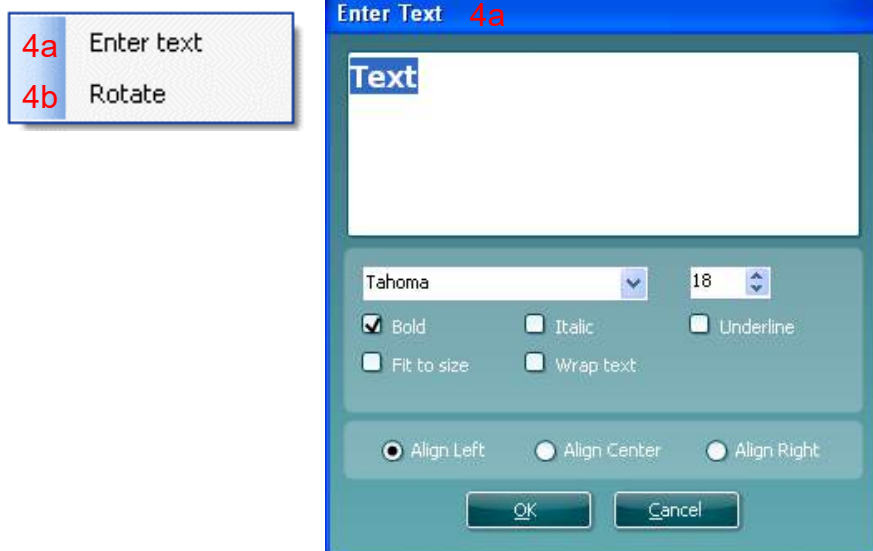
3. ロゴ

- a. 画像の選択では、印刷書式に追加したい画像を閲覧できる画面が表示されます。
- b. 回転を選択すると、構成要素が時計回りに90度回転します。





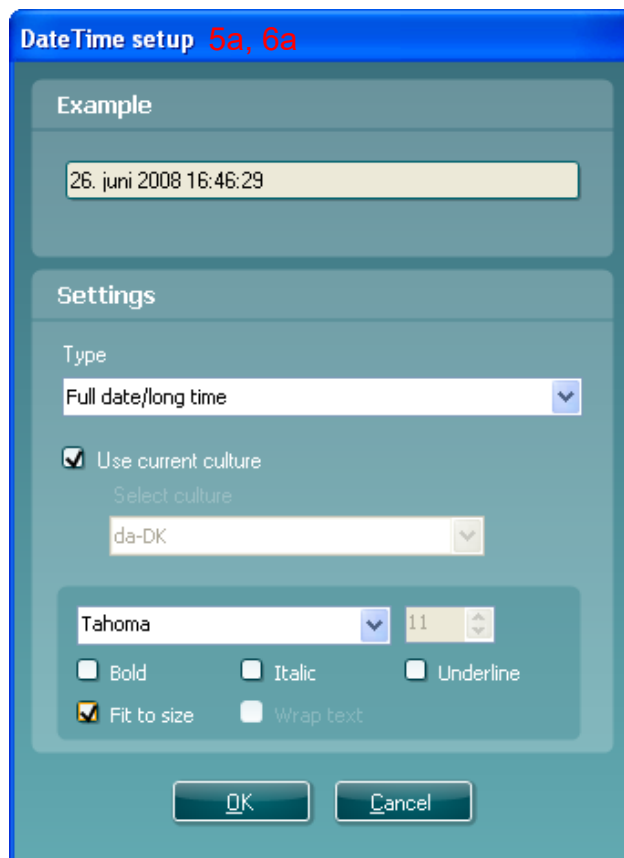
4. **テキスト**この構成要素では、印刷書式にフッターなどのテキストを追加することができます。
 - a. **テキストの入力**では、**テキストの入力画面**が表示されます。自由にテキストを入力ことができ、フォント、フォントサイズ、フォーマットを指定することができます。
 - b. **回転**を選択すると、構成要素が時計回りに**90度**回転します。



5. **日時**この構成要素では、印刷した日付と時刻、もしくはいずれか一方を印刷書式に表示させることができます。
 - a. **設定の入力**では、**日時の設定画面**が表示されます。印刷書式内に表示される日付と時刻のフォーマットを指定することができます。また、フォント、フォントサイズ、フォーマットも指定できます。
 - b. **回転**を選択すると、構成要素が時計回りに**90度**回転します。



- 5a Enter setup...
- 5b Rotate



6. **検査日時**この構成要素では、検査が実施された日付と時刻、またはいずれか一方を印刷書式内に表示させることができます。
 - a. **設定の入力**では、**日時の設定画面**が5aで示されているように表示されます。印刷書式内に表示される日付と時刻のフォーマットを指定することができます。また、フォント、フォントサイズ、フォーマットも選択できます。
 - b. **モジュールの選択**を選択すると、選択されたモジュールの検査日時を表示することができます。Affinity SuiteとTitan Suite両方を組み合わせて検査日時を印刷することができます。
 - c. **境界の切替え**では、**検査日時**の構成要素の境界線の表示/非表示を切り替えることができます。
 - d. **回転**を選択すると、構成要素が時計回りに90度回転します。

4.5.2.2 タスクバー



1. **Add page** 2ページ以上で構成される印刷書式を作成する際にページを追加します。
2. **Remove Page** ページおよびすべてのコンテンツを削除するか確認されます。
3. **左揃え** 2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、構成要素を左側に揃えます。
4. **右揃え** 2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、構成要素を右側に揃えます。
5. **上揃え** 2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、構成要素を上側に揃えます。



6. **下揃え**2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、構成要素を下側に揃えます。
7. **水平揃え**2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、構成要素を水平中央軸に揃えます。
8. **垂直揃え**2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、構成要素を垂直中央軸に揃えます。
9. **同じサイズに変更**2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、すべてのサイズを最初のページの構成要素と同じサイズに揃えます。
10. **同じ幅**2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、すべての幅を最初のページの構成要素と同じ幅に揃えます。
11. **同じ高さ**2つ以上の構成要素を選択した場合（キーボードのシフトキーを使用）、すべての高さを最初のページの構成要素と同じ高さに揃えます。
12. **後ろに移動**選択された構成要素を後ろに移動させることができます。
13. **前に移動**選択された構成要素を前に移動させることができます。
14. **構成要素のロック**では、選択された構成要素をロック/ロック解除することができます。構成要素の位置とサイズがロックされます。ロックされている構成要素に対してタスクバー機能が使用された場合、自動的にロックが解除されます。
15. **余白の表示**では、破線の印刷余白の表示/非表示を切り替えることができます。




4.6 レポートの作成

Affinity 2.0 Suiteでは、**レポート編集**機能でレポートを作成することができます。モジュール内の各セッションにレポートを保存でき、いつでも取り出せるようになっています。レポートは印刷結果に組み込むことができ、被検者の測定に関連するすべての情報を1枚にまとめることができます。レポート機能には、被検者や検査者が異なる場合にも使用できる複数の**レポート書式**の作成も含まれています。

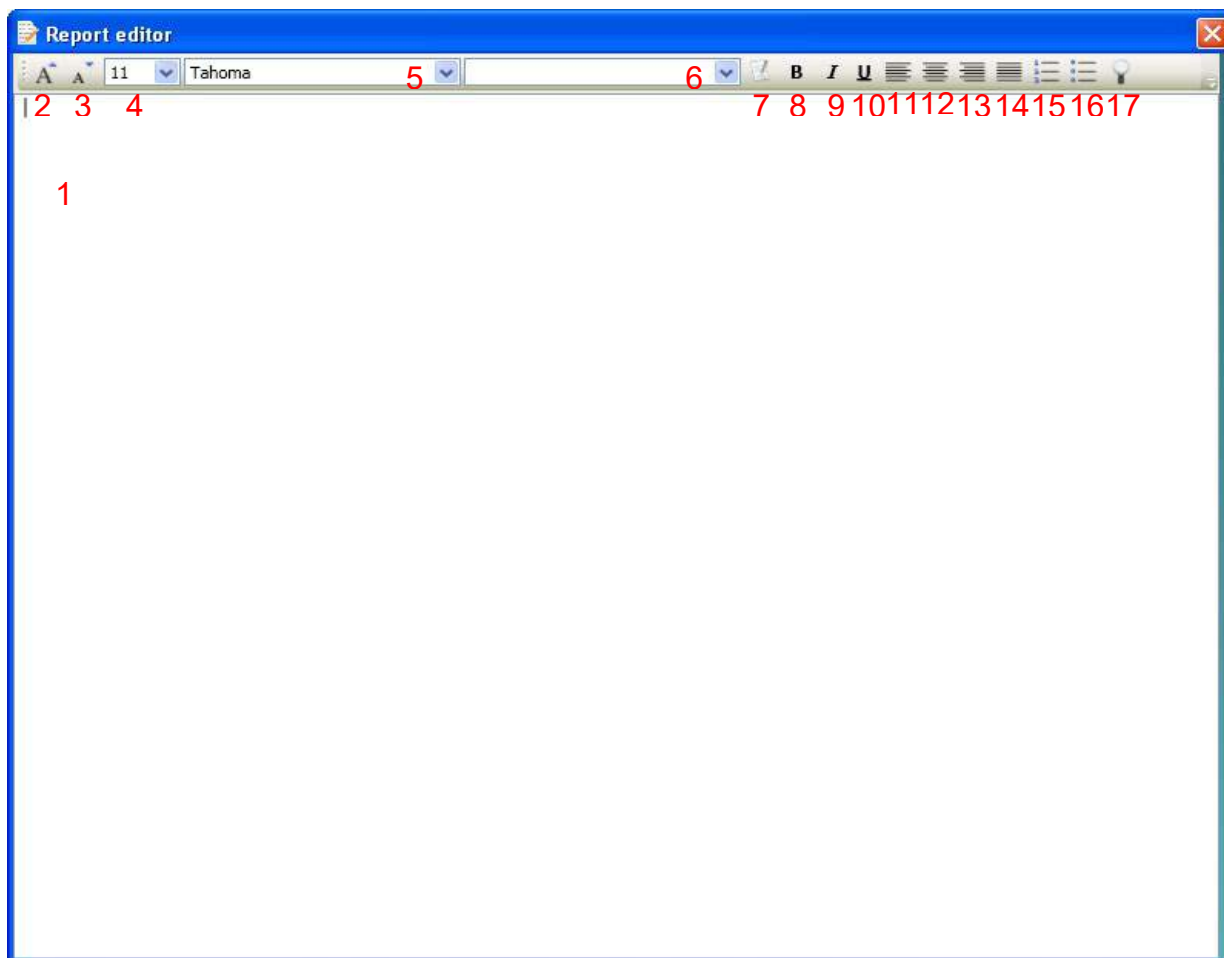
注記：現在のセッション中にレポートを入力する必要があります。過去のセッションのレポートに入力するには、現在のセッションにレポートを転送してから再度保存する必要があります。

4.6.1 レポート編集の操作

現在の被検者のレポートを作成するために**レポート編集**を開くには、 **AUD、REM、HIT**の画面でを押す必要があります。




4.6.2 レポート編集



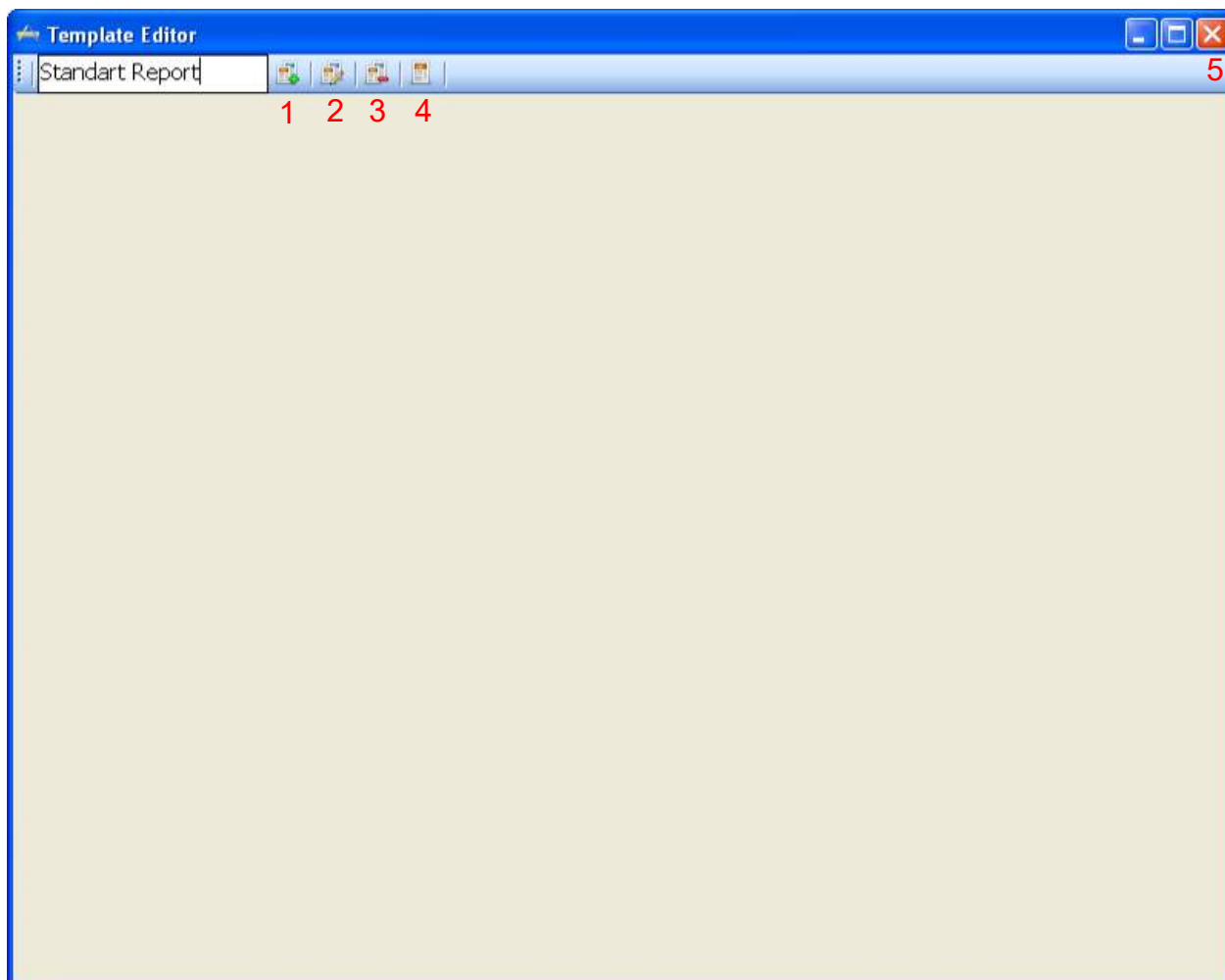
1. レポートのページに報告事項と考察を記載します。
2. 現在選択している項目の**フォントサイズ**を大きくします。
3. 現在選択している項目の**フォントサイズ**を小さくします。
4. 現在選択している項目の**フォントサイズ**を変更します。
5. 現在選択している項目の**フォント種類**を変更します。
6. ドロップダウンリスト内の既存の書式から**書式**を1つ選択し、現在のレポートに挿入します。
7. **書式の編集**では、新規書式の作成、既存書式の編集、またはお好みの書式を既定の書式に設定することができます（第4.5.3章参照）。
8. 現在選択している項目のフォントを**ボールド**に変更します。
9. 現在選択している項目のフォントを**イタリック**に変更します。
10. 現在選択している項目のフォントを**下線付き**に変更します。
11. 現在選択している項目のアラインメントを**左揃え**に変更します。
12. 現在選択している項目のアラインメントを**中央揃え**に変更します。
13. 現在選択している項目のアラインメントを**右揃え**に変更します。
14. 現在選択している項目のアラインメントを**両端揃え**に変更します。
15. **段落番号**を挿入します。
16. **箇条書き**を挿入します。
17. **画像のインポート**では、PC上の画像を閲覧することができます（例：施設のロゴなど）。





4.6.3 書式の編集

レポート編集を開くには、を押してください。

1. **新規書式を追加**では、新規でレポート書式を作成することができます。**新規書式を追加**を押す前に、書式名（例：Standard Report）を入力します。
書式名はツールバーに表示され、以下の例のようにレポート書式の詳細を入力することができます。



- 完了したら、書式を保存するために**書式の保存**を押してください.
2. **書式の編集**では、既存の書式を編集することができます。ボタンを押し、編集したい書式を選択します。
 3. **書式の削除**では、既存の書式を削除することができます。ボタンを押し、削除したい書式を選択します。
 4. **既定の書式として設定**では、セッション中にレポート編集が初めて開かれた際、現在の書式が常に開かれるようになります。

レポート編集に戻る場合は、赤の×印を押します.